

八頭風景

一八頭町地域おこし協力隊活動の現場から

最後まで楽しんだ2025年

毎度お馴染みになつていて、1枚目は1ヶ月のまとめです。沿線で登場する人々や景色を楽しむ商工会企画の貸し切り列車「わかつつの車窓から」では仕掛け人として、やすぴよんに扮してバイクで列車と並走。観光協会企画「クリスマス列車」ではトナカイに扮して並走し八東駅でお菓子を子ども達に渡しました。バイクで乗客の方々に喜んでいただき、今後の活動へのヒントにもなりました。



12月の活動イラスト（1枚目）

年越しも隼駅でのカウントダウンイベントに参加し、除夜の鐘や隼神社への初詣など良いスタートが切れました。2026年もバイクをきっかけに八頭町のファンを増やしていくたいです。

2枚目は八頭町に住み始めた面白いなと思った事をまとめました。住み続けると当たり前に感じると思いますが外から来た私にとってはこんな日常が愛おしく周りの人に自慢したくなります。そんなことが珍しく思えるんだなと見ていただけすると幸いです。

谷内口瑞月

ダウンイベントに参加し、除夜の鐘や隼神社への初詣など良いスタートが切れました。2026年もバイクをきっかけに八頭町のファンを増やしていくたいです。

2枚目は八頭町に住み始めた面白いなと思った事をまとめました。住み続けると当たり前に感じます。そんなことが珍しく思えるんだなと見ていただけると幸いです。

この夏休みに小学校高学年を対象に実施した「ナツキチ」という事業に引き続き、冬休み期間中に「フュキチ」という体験塾事業にチャレンジしています。

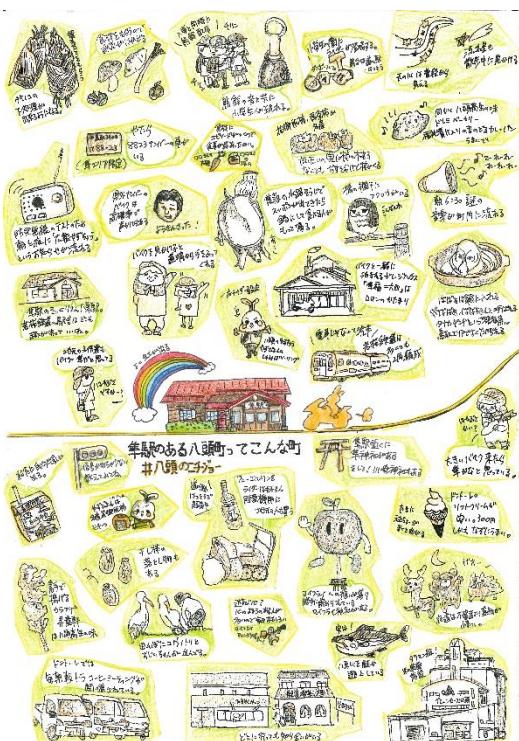
「どーも、ミヤツキーです。この夏休みに小学校高学年を対象に実施した「ナツキチ」という事業に引き続き、冬休み期間中に「フュキチ」という体験塾事業にチャレンジしています。

す。

また、子どもたちが話し合い、企画準備から関わる「子どもミーティング」事業では、道の駅はつとうで今年最後の出店を行いました。

「チャレンジしているのは私だけでなく子どもたちも一緒にです。「杵と臼でもちつき」や「藁を使って縄を編んでみる」「地元のそば粉を使ってそば打ち体験」など地元の方たちの力を借りながら経験しています。子どもたちにとっては未経験のことばかりで苦戦することもありますが、「できた!」と目をキラキラさせて言ってくる表情はいきいきとしています。

文化と伝統の冬



八頭町の気になる日常まとめ（2枚目）

イラストの拡大版は八頭町役場のHPからご覧いただけます。



フュキチ・縄編み

子どもたちは慣れた手つきで準備をせつせと進めていきます。「」の日は青空カフェでグランマンさんと一緒に出店しました。先輩方の姿を見て何かを感じ取り学んでくれたかなと思います。



来年度も子どもたちが何を

「やりたい」と語って始まつていくのか私もわくわくしています。少しずつ仲間の輪も広がっていきそうです。協力隊になり早くも1年が経とうとしています。この1年

さらに多くの人に出会い、関わりを持たせていただきました。本当にありがとうございます。今後とも末永いお付き合いを何卒よろしくお願ひ致します。

活動詳細は

Instagram [@miyakk_i82]

で発信中

宮崎靖大

傾斜地での果樹栽培

12月のはじめ、私は鳥取から離れ、和歌山の地に足を踏み入れました。見慣れた八頭町とはまた違った風景が広がり、その対比が新鮮に映りました。目的は、「ブランド維持(みかん)」、「美味しい栽培の工夫」の視察です。視察の中で生産者の方などにお話を伺う

他、実際に収穫と選果作業を体験しました。

圃場面積は3ヘクタールほどでした。美味しいみかんの栽培には平地が向いておらず、ス

パイクでも履かねば滑つてしまふような傾斜地で栽培をされていました。

排水性も考慮してか砂礫の

まじる地面の上での作業だったので一度滑つて転びました（誰も見ていなかったのでよし！）。

そんな傾斜地では、人力で収穫物を運ぶのも無理があるのでモノレールを使用されていました。かつて鳥取の梨栽培も、傾斜地で行われていたと

いうことが、頭をよぎりました。

当時、現在ほど機械化も進んでいない状態で梨の作業をされていたという事ですが、

現代の果樹栽培を学んでいる私からすると、先人達はとても大変な環境で頑張られてきたのだと感じます。

そしてトレーニングファームの研修が始まる以前、山で梨づくりをされている方の元で農業を体験させていただいた事を思い出し、初心に帰る事ができたように感じます。

渡辺彌龍



みかん農家の選果作業

担当課より 寒さ厳しい季節ですが、そのような時節だからこそ味わえる八頭町の景色・出来事があります。原稿の編集を通じて、担当自身も町の良さや独自性に気付かされることがあります。「当たり前のこと」かもしれませんのが、移住風景が皆様のふとした気付きのきっかけになれば幸いです。（田渕）

ハ頭町役場ホームページからカラーでご覧いただけます。